

港区立高輪台小学校 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の授業改善推進プラン

国語	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○相手を意識して話したり、大事なことを落とさないように聞いたりすること。 ○話題に沿って話し合うこと。 ○助詞などを適切に用いて正しく文章を書くこと。 ○自分の伝えたいことを分かりやすく書くこと。 ○文学的文章や説明的文章の内容を正しく読むこと。 ○新出漢字やローマ字を正しく書くこと。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉に関心をもたせたり、言葉のよさを実感させたりすることができるような、授業づくりをする。 ○読書に親しませたり、辞書を活用したりするなど、語彙を増やす指導を意識的に取り入れる。また、獲得した語彙を使って文を書くなど、活用場面も設定する。 ○RASと連携し、読書環境を整え、読書意欲を高める。 ○国語科の授業以外にも、スピーチや話し合い活動などを意図的・計画的に取り入れる。 ○国語科で学習した話し方・聞き方の技能やルールを、その他の場面でも活用させる。 ○視写や聴写、短文作りなどを発達段階に応じて効果的に取り入れ、文を正しく書けるようにする。 ○作文や日記など、文章を書く活動を計画的に取り入れたりと、継続して行ったりする。また、児童にとって書く必然性や楽しみが感じられる題材を工夫する。 ○「取材→構成→記述→推敲→交流」の学習過程で、具体的に指導する。 ○思考ツールを活用してメモや構成を考えさせる。 ○叙述に即して読む、中心となる語や文をとらえる、段落ごとの要点をおさえるなど、学年に応じ、具体的な読みの方法を指導する。 ○音読や新聞記事の読み取りなどを日常的に取り入れ、読みの力を伸ばす。 ○漢字やローマ字など、小テストや東京ベーシックドリル等を活用して繰り返し練習し、習熟を図る。また、家庭学習における繰り返し練習を促し、技能を定着させる。
社会	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○見通しをもち、主体的に課題を解決すること。 ○社会的事象を自分の生活と関連付けて考えること。 ○社会的事象について自分の考えをもち、表現すること。 ○資料を読み取り、他の資料と関連付けて考えること。 ○資料を活用して自分の考えをまとめたりすること。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が興味関心をもち、主体的に課題を追究することができるような学習課題を設定し、問題解決型の学習活動を行う。 ○資料の読み取り方を具体的に指導する。資料から分かることを読み取るだけでなく、複数の資料を比べたり、資料から読み取ったことをもとに自分の考えを広げたりするような活動を、計画的に取り入れる。 ○自ら工夫してノートや新聞、マップにまとめたり、学習問題の答えを文章化したりすることを取り入れ、思考力や表現力を高める。 ○自分たちの生活と関連付けて考えさせる場を意識的に取り入れ、社会的事象への関心をもたせる。新聞記事やニュース等を活用し、学習した社会的事象が自分たちの生活と関わっている実感をもたせる。 ○見学・体験活動を取り入れたりと、情報機器を効果的に活用したりして、理解をさらに深める。
算数	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○問題場面を正しく読み取り、式を立てたり、問題を解決したりすること。 ○数量やその関係を言葉や図などに表わすこと。 ○自分の考えを、式や図表を用いながら分かりやすく説明すること。 ○長さやかさなどを正しく理解したり、正しい量の感覚を身に付けたりすること。 ○図形の構成要素や定義を正しく理解すること。 ○時間や時刻を正しく理解すること。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○特に低学年において、具体物やブロックを用いた活動を通して、具体的操作と言葉を結び付け、体験的に理解できるようにする。 ○問題中のキーワードに注目させたり、問題場面を数直線や線分図で表現させたりするなどして、問題場面を正しくとらえられるようにする。 ○問題作りの機会を意図的に取り入れ、四則計算の意味を正しく理解させる。 ○グループでの話し合い活動を意図的に取り入れ、式や図表を用いた説明をする活動を通して、一人一人の思考力や表現力を高める。 ○図形や測定の領域においては特に、実物を用いる・具体的操作を取り入れる・情報機器を活用するなどして、理解を深める。また、生活と結び付け、量感を豊かにする。 ○情報機器を効果的に活用し、視覚的にとらえやすい授業を展開する。 ○計算や作図など、東京ベーシックドリル等を活用して繰り返し練習し、習熟を図る。また、家庭学習における繰り返し練習を促し、技能を定着させる。 ○学習したことを、身の回りの生活と結び付け、体験的に理解させたり、自分の生活に生かせるようにしたりする。 ○3年生以上の学年において、習熟度別少人数指導を取り入れ、個に応じた指導を継続的に行っていく。

理科	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○見通しをもって問題を解決すること。 ○自分の考えを筋道立てて分かりやすく説明すること。 ○科学的事象を自分の生活と関連付けて考えること。 ○植物の育ち方など、生命・地球の領域についての理解が十分でないこと。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対して、観察や実験を通して体験的に解決できるよう、問題解決型の学習活動を行う。「課題設定→予想→観察・実験→考察」の学習過程を身に付けさせる。児童自身が課題を立て、その解決方法をすすんで考え、主体的に解決していけるような授業展開を行う。 ○植物の観察や自然教育園などの見学を通して、成長の様子について年間を通して観察し、植物の育ち方に対する理解を体験的に深める。 ○実験や観察を行う時間を十分に確保できるような計画を行う。 ○情報機器やデジタル教材を効果的に活用し、視覚的にとらえやすい授業を展開する。 ○観察・実験記録の書き方や考察の書き方などを具体的に指導する。思考ツールを活用するなどして、思考力・表現力を高める。
生活	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の一員としての思いが十分にもてていないこと。 ○体験したことから気付いたことを表現する力が弱く、気付きの質がやや低いこと。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○地域人材を活用したり、地域と関わったりする活動を、今後も継続して取り入れていく。 ○体験活動や気付きを引き出す活動を多く設定し、気付きの質を高める。 ○気付いたことや自分の思い・願いなどを表現するための指導を行い、表現力を高める。

港区立高輪台小学校 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の授業改善推進プラン

音楽	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○発声の基本、リコーダーの運指を身に付けること。 ○自分の声に自信をもって歌えること。 ○他のパートを聴き、表現できるようにすること。 ○響き合う心地よさ、美しさを感じ取れるようにすること。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本を、分かりやすく楽しく学べるような授業づくりをする。 ○安心して表現できる集団づくりを常に心がける。 ○グループ学習を多く授業に取り入れる。 ○合唱発表会などを通して表現力を高める。
図工	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○見通しをもって、活動に取り組むこと。 ○主体的に、自分なりの考えを生かして活動すること。 ○表現によって自分の考えや思いを相手に伝えることに意欲をもつこと。 ○友達の作品や身近な美術作品に関心を持ち表現活動の中でも鑑賞の視点をもって活動すること。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の流れを提示し、本時の活動のめあてや、活動のまとめについての意識をもたせる。 ○自分なりの面白さや、よさを味わうことができるよう、自分で決められる内容を活動にもたせる。 ○活動のめあてや目的を活動の導入で伝え、意欲をもって活動できるようにする。 ○よさを伝え合う機会を活動の中に取り入れ、鑑賞の面白さを味わえるようにする。
家庭	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの生活に関わることであるという課題意識・問題意識をもつこと。 ○調理実習やミシンを安全に気を付けて使うこと。 ○知識・技術の習熟に個人差があること。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの生活をしっかり振り返らせた上で、進路指導や消費者教育、持続可能な社会の視点もふまえた課題を投げかける。 ○予備制作・予備調理で、児童が陥ると思われる危険や留意点を洗い出し、予め教材化する。 ○ICT教材や各種団体の出している教材を利用する。
体育	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○体力調査において、長座体前屈の成績が、男女ともに、ほとんどの学年で区平均・都平均・全国平均を下回っていること。 ○水泳の学習で、検定級に新たに合格できずに足踏みする児童が多く、意欲の低下が心配されること。 ○自己の課題に合った練習方法を選択したり、工夫したりすること。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○体育朝会で、関節の柔軟性の大切さを指導したり、股関節の柔軟性を高める運動を紹介したりし、授業でもそれらの運動を取り入れることで、柔軟性を高める。 ○水泳の検定級をスモールステップで進級できるように改訂することで、児童がめあてを明確にもち、意欲をもって学習に取り組めるようにする。 ○体幹の筋力を鍛えるために、バランスボールを活用する。 ○クラスごとに8の字跳びの記録に挑戦することで、運動に親しむ態度を育てる。
国際	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○相手を意識して話したり、大事なことを落とさないように聞いたりすること。 ○どの児童も興味・関心をもって英語での会話を楽しみ、進んで活動に取り組んでいること。 ○継続して行っていることで、歌やゲームに楽しんで取り組み、英語での表現に慣れ親しんでいること。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○個人差が大きく、英語に対しての苦手意識をもつ児童は少なくないので、主体的に関われるような学習活動を工夫する。 ○児童相互のかかわりを工夫しながら、英語による表現を楽しめるようなアクティビティやゲームを取り入れていく。 ○自分たちの身の回りにある異文化により興味をもたせるようにする。

港区立高輪台小学校 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の授業改善推進プラン

道徳	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対する意識が低い児童がいること。 ○考えをもてても、議論が難しい面があること。 ○ワークシートに考えを書けない児童がいること。 ○登場人物の気持ちを考えることができても、自分の生活に生かせていないこと。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○課題が明確になるように発問をして、課題意識を高める。 ○議論の時間や場を確保する。議論ができている児童を称賛して、議論ができる雰囲気作りをする等の工夫をする。 ○考えを書けないときは、友達と同じか違うかだけでも書けるようにして、個別に支援し、少しずつ書けるようにする。 ○自分の生活を振り返る時間を設定して、生活に生かせるようにする。
特別活動	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○学級活動で、計画的に話し合いを進めていくことが十分でないこと。 ○係の仕事に意欲的に取り組む児童が多いが、自ら活動を工夫したり、自主的に活動したりする力が十分でないこと。 ○運営委員会で、低学年（1～3年生）の希望や意見が十分反映できるような配慮ができていないこと。 ○クラブ活動において、自発的な活動が十分でないこと。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○学級活動の年間計画を見直し、意図的・計画的に話し合い活動を取り入れる。特に中学年までに全員に司会等の役割を経験させられるようにする。 ○学級の係活動や高学年における委員会活動において、活動の工夫をする時間を十分に確保するなどし、自主的に活動する態度を育てる。 ○運営委員会で、全校の課題を話し合う。あいさつ運動や各学級へのよびかけをすることで、課題の解決を目指す。 ○学芸的行事（高輪台フェスティバル）において、ポスターに各学級のめあてを記入し、掲示することで、集団への所属感を深め、めあてをより明確にすることを目指す。
総合的な学習の時間	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・探究的に学習活動を進める力が十分でないこと。 ○年間計画に沿って、児童の「やりたい！調べたい！発表したい！」という意欲を引き出せるような授業展開をすることが難しいこと。 ○プログラミング学習にまだ十分に組み合わせていないこと。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・探究的に学習を進めるために、年間計画を綿密に立て、計画的に授業を進めるようにする。また、情報収集や整理分析を行う際には、特に計画的に行い、時間にゆとりをもてるようにする。 ○プログラミング学習については、情報担当と連携し、まずは教員同士で学び合いを行い、自信をもって指導にあたる。さらに児童同士でも学年間や学級間で学び合いができるような場の設定を行う。